杜絶してゐる 主義者の運動費

我國の 齊多の主義者大會へ提出

[illegible]金復興案を我主義者から[illegible]あさして來る[illegible]の復興案を提出して之が承認を求[illegible]大會に響らく鳴りを潜めて居つた

コムミユニストから一時中斷されて居つた運動費の復興案を提出して之が承認を求める筈であるさ云ふが萬一之が大會の承認する所ともならば、夫れこそ由々敷き大事で今秋から明春に掛けて主義者團の跳躍は必ず恐るべきものがあるであらうさ警視廳及び愛民隊其他各關係筋の

一般は

昨今主義者團の動向をも見らるべき大杉榮、山川均堺利彦等の蔭元老連を中心に、之を取圍く惑星共の微々たる人數に數る迄、非常なる注意を拂ふ共に厳重なる警戒を加へてゐる右に就て一消息通は語る彼等の恐れつゝある所は警視廳を始めさする一般の官憲ではなくて實に其

運動費

の缺乏である、先年相當の運動費がレーニン一派の手から密かに送られて居つたものだが、主義者中にも善からぬ心の者があつて腰く其大金を横領した事實がある爲め勞農露國でも一時送金を中止したので之が爲め茲數十ケ月に云ふもの彼等の目覺しい活動を見るに至らなかつた次第であるさ

會場へ姿を見せた ア氏追出さる

演說草稿丈け中野氏讀上ぐ

昨夜の對露問題演說會

對露交渉問題演說會は中野正剛氏等の又新社主催で十八日夜六時から神田青年會館で開かれた

受附の

美人からプログラムを貰つて場内へ入ると左の片隅に二ツ三ツの束髪や七三の分け髪が見える治安警察法正の效能だと合點して見廻すとギツシリの入りだ所々に勞働運動や左傾團體の屯して居るのが見える、丁度屋間氏が「開會の辭」を述べて居る處だれから例の樺太卯平氏が身振り手振りで「對露問題に面接して」さ云ふのがあつて

演壇を

滿鐵拳太郎氏に讓る滿川氏は政府の對露交渉の行詰りを攻擊して「メルクロフさ云ふ樣な帝生論に取附かれて二進も三進も動かぬ」と喝破して六十年前に松平石見守が單身孤劍で露領に乘込んだ樣な意氣を今の松平代表に望むさ云つた其次に久し振りで雪嶺三宅博士が拍手に迎へられて壇に上つた「世界同れの觀こも

排日熱

はあるが國たけはない……政府はそれを危險視するが危險の理由を述べた役人が一人もない一萬人の役人の中一人もない此中に御慰きになつた人は手を擧げて下さい」と笑はせる毆りに中野正剛氏が起つてアントノフ氏が此會場から逐出された內相違約問題を責め會場の紳士淑女迄來たアントノフ氏を逐出した當局

過激思想の 宣傳だ

マ氏の對露交渉に

當局者の談

チタ政府の代表を勤ずるアントノフ氏は入京以來各方面の人士と會見して意見を交換し憲政會本部でも當見を開陳し、が更に昨十八日夜神田青年會館で三宅雪嶺博士と共に

演壇に

起つ警官で主催者側の代表士中野正剛、樺太卯平等の代表士中野正剛、樺太卯平等後に至り突如として警視廳からアントノフ氏の演說禁止の命が發せられた右に就て亜力官房主事曰く「アフ氏の入京以來の行動やそれ以前の經歷其他から考へてもその思想は非常に左傾してゐるから青年會館で過激思想でも宣傳されては困るそれで

當局は

同氏の講演を以て治安を紊す虞があるものさ認めて斷然出演を禁止したのである」

高等工業在學の 支那人捕はる

赤化宣傳

刑事四名に

十八日午前八時[illegible]署の刑事四名が小石川區大塚坂下町二九岡本與三郎方北京民國留學生高等工業學校二年楊鴻敏(?)を訪ねて本人の居室を隈なく捜索し多數の書類を押收すると共に其儘同人を警視廳に引致し厳重取調中であるが同人は赤化宣傳に關係した者であるさ

勞農露西亞 恐るゝに足らず

雪嶺博士外交政策を論ず

警官臨席の對露交渉促進演說

又新社主催の對露交渉促進演說會は[illegible]アントノフ氏を出席させずに當局者[illegible]人氣を呼び、十八日夜の當[illegible]年會館は定刻六時迄に滿員の盛況、[illegible]觀衆では海田外事課長始め外事特[illegible]の私服數十名を派し、是等警官は絶えず場の隅々から鋭な眼光を放つて警戒に努めて居た[illegible]氏は

開會

を宣し、樺太卯平氏は「對露問題に面接して」と題し、ロシヤは是迄吾人に對して國防經濟の兩方面から厳しい試驗を與へて呉れた、

活躍

すべき唯一の天地シベリヤから吾人を遠ざけんとして居るを奬し、三宅雪嶺博士は「眼を轉じて上に武力發力の試驗を與へんとして居るが、我政府當局の誤れる外交政策は、吾人が今後

活躍

すべき唯一の天地シベリヤから吾人を遠ざけんとして居るを奬し、三宅雪嶺博士は「眼を轉じて上に武力發力の試驗を與へんとして居るが、我政府當局の誤れる外交政策は、吾人が今後

秘密

の政策は敢はだ『と云ふ樣な妖智と執りつゝある[illegible]が、最後に中野正剛氏は「日露親善[illegible]が早道である、ロシヤの現狀は丁度、賊が賊刀を捨て散々虐げられ、遂に、賊刀を捨てて散々虐げられ、月ゆ男と云ふ男を呪つたカチューシヤのそれに[illegible]たるものがある、之に對する[illegible]情と誠意とを以て當らねば、到底解決は困難である、對露外交は[illegible]

經濟

上からロシヤとは親[illegible]必要切なるものがある』と說き起し、我政府の對露外交の失敗を指摘して滿々二時間餘に亙つて聽衆を醉はせ、九時半頃に散會した聽衆は待ち受けた臨席の警官は手持無沙汰の有樣だつた

加藤首相は宜しく 其の眞相を究め

自身レーニンと直接に

膝を交へて交渉を進む

將來アラスカとシベリヤとはヨリ以上に武力發力の試驗を與へんとして居るが、我政府當局の誤れる外交政策は、吾人が今後[illegible]の道は主義上のロシヤに共鳴するか國家經濟上の立場から、ロシヤに接近するかの二つであるが、ロシヤは日ト共産主義の逆に遭遇して居る思想を吾々は共鳴出來ぬが

經濟

上からロシヤとは親[illegible]必要切なるものがある』と說き起し、我政府の對露外交の失敗を指摘して滿々二時間餘に亙つて聽衆を醉はせ、九時半頃に散會した聽衆は待ち受けた臨席の警官は手持無沙汰の有樣だつた